

(4) 一日の流れ(晴天時)

時間	★ 予 想 さ れ る 幼 児 の 生 活	★ 保 育 者 の 援 助 と 留 意 点
9 : 0 5	☆ 登園する。 ・ あいさつする。 ・ 防寒着を片付ける。 ・ 靴を履き替える。 ☆ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 ☆ 好きな遊びをする。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ 自然と触れ合う。 ・ つくって遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 砂や水を使って遊ぶ。 ・ 絵本を見る。 など 【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子ともたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話をしたりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子ともたちの健康状態を把握する。 ★ 友だち同士であいさつし合う姿を認め、気持ちよさを共に味わいながら、楽しく一日が始まるようにする。 ★ 登園時の活動の様子を見守り、スムーズに活動できるよう必要に応じて言葉を掛けていくようにする。 【ごっこ遊びをする】 ☆ お母さんやお父さん、ブリーダー、レスキューフォースなど好きな役になりきって遊ぶ。 ☆ エプロンを着て、遊ぶ。 ☆ 「仲間に入れて」「一緒に遊ぼう」「貸して」など遊びに必要な言葉を使って遊ぶ。 ★ 遊びに必要なものを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 好きな役になりきる満足感を味わえるよう一人一人のイメージを大切にしながら保育者も仲間に入り、遊びを盛り上げるようにする。 ★ 自分の思いを伝えるためにどうしたらいいか、必要に応じて気持ちを代弁したり、子どもの言葉に補足したりしていく。 【絵本を見る】 ☆ 好きな本を選び、自分で絵や写真を見たり、先生に読んでもらったりする。 ★ 子どもたちが興味のある本や図鑑を用意しておき、いつでも見ることができるようにする。 【自然と触れ合う】 ☆ 風や水の冷たさを感じたり、吐く息の白さに気付いたりする。 ☆ クロッカスや二十日大根の様子を見たり、水を掛けたりする。 ☆ バラやサザンカ、梅などを見たり、触れたり、香りを嗅いだりする。 ☆ ウサギやニトリなどを見たり、えさをあげたりする。 ★ 風や水の冷たさや吐く息の白さに気付くように言葉を掛け、保育者もその感動と共に味わっていく。 ★ 保育者と一緒に身近な自然にかかわって遊び、子どもたちの発する言葉や動きを共感的に認め、他の子どもへの刺激となるような言葉掛けをしていくようにする。 ★ 親しみをもって生き物に接することができるように保育者も見守り、触れたりして、子どもの発見や感動に共感していくようにする。	【環境構成】 (プレイルーム) ア：カセットテープ、ラジカセ、タンプリン、すず、カスタネット イ：ソフト積み木 ウ：空き箱、牛乳パック、平テープ、セロハンテープ、ガムテープ、ストロー、新聞紙 エ 絵本、図鑑 オ：人形、エプロン、ままとセット カ：ヒヤシンス キ：クロッカス、二十日大根 ク：洗面器、バケツ、皿、茶碗、船、汽車、ペットボトル 【つくって遊ぶ】 ☆ 空き箱やロールペーパー芯、ストロー、新聞紙、ソフト積み木などで、自分がつくりたいものをつくる。 ☆ つくったものを使って、友だちや先生と一緒に遊ぶ。 ☆ 異年齢児の仲間に入って、大型積み木で家や基地などを一緒ににつくり、ごっこ遊びをする。 ★ 「～したい」という思いを実現するために必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 一人一人の思い(何がしたいのか、何をつくりたいのか)を丁寧に受け止め、大切にする。 ★ 異年齢児とかかわって遊ぶ姿を見守りながら、必要に応じて言葉を補ったり、気持ちを代弁したりして、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ★ はさみやセロハンテープの扱い方、積み木の積み方などの安全面については、遊ぶ様子を見守りながら、必要に応じて言葉を掛けていく。 【体を動かして遊ぶ】 ☆ 友だちや先生と一緒にかけっこやかくれんぼ、ボール遊びなどをする。 ☆ ぶらんこや鉄棒、グروبジャングル、回転盤などの固定遊具で遊ぶ。 ☆ 築山に登ったり、駆け下りたりして遊ぶ。 ☆ 長縄やパカパカで遊ぶ。 ★ 十分に体を動かして遊ぶことができるように場を確保し、冬の自然の中で体を動かして遊ぶ心地よさを味わえるようにする。 ★ 保育者も一緒に体を動かして遊び、体が温まってくることを共に味わったり、展開をリードして遊びの面白さを伝えたりしていくようにする。 ★ 子どもたちが見える動きや技を共感的に認めながら、できた喜びを共に味わい、自信へとつながるようにする。 ★ 必要に応じて気持ちを代弁したり、子どもの言葉に補足したりしていく。 【砂や水を使って遊ぶ】 ☆ 砂と水を混ぜ合わせて、友だちとプリンやケーキなどの料理をつくる。 ★ 砂や水の感触を味わいながら、様々なものをつくったり、見立てたりする姿を共感的に受け止めていくとともに、同じ場にいる友だちの存在に気付くような言葉掛けをする。 (園庭)
1 0 : 4 0	☆ 片付ける。 ☆ 降園の準備をする。	
1 1 : 0 0	☆ 降園時の活動をする。 ・ 歌を歌う。(ゆき など) ・ 絵本を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返り。 ・ 次週の予定を聞く。	【片付ける】 ★ 自分で遊んだ後の片付けをしようとする姿を認めながら保育者も一緒に取り組み、励ましていくとともに、園庭や保育室がきれいになる気持ちよさに共感していく。 【降園時の活動をする】 ★ 保育者と一緒に手洗い・うがいをして、その大切さを伝えていくようにする。 ★ 歌を歌ったり、ゲームをしたりして、みんなで楽しい時間を共有することができるようにする。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を見たりして、季節感を味わえるようにする。 ★ 話を聞く雰囲気づくりをし、一日の出来事を振り返り、満足感を味わえるようにする。 ★ 今日の子ともたちの遊びの様子を紹介したり、次週の予定について話題にしたりして、次週も期待をもって登園できるようにしたい。
1 1 : 3 0	☆ 降園する。	

(4) 一日の流れ(雨天時)

時間	★ 予想される幼児の生活	★ 保育者の援助と留意点
9:05	★ 登園する。 ・ あいさつする。 ・ 傘やレインコート、防寒着を片付ける。 ・ 靴を履き替える。 ★ 登園時の活動をする。 ・ シールをはる。 ・ 連絡帳を出す。 ・ タオルを掛ける。 ・ ランドセルや帽子などをロッカーにしまう。 ★ 好きな遊びをする。 ・ 体を動かして遊ぶ。 ・ 自然と触れ合う。 ・ つくって遊ぶ。 ・ ごっこ遊びをする。 ・ 絵本を見る。 など	【登園する 登園時の活動をする】 ★ 一人一人の子どもたちと笑顔であいさつを交わしたり、楽しく会話をしたりしながら、咳や鼻水は出ていないか、顔色はどうかなど、今朝の子どもたちの健康状態を把握する。 ★ 友だち同士であいさつし合う姿を認め、あいさつをする楽しさ、気持ちよさを共に味わいながら、楽しく一日が始まるようにする。 ★ 登園時の活動の様子を見守り、スムーズに活動できるよう必要に応じて言葉を掛けていくようにする。 【ごっこ遊びをする】 ★ お母さんやお父さん、プリキュア、レスキューフォースなど好きな役になりきって遊ぶ。 ★ エプロンを着て、「遊ぶ」「仲間に入れて」「一緒に遊ぼう」「貸して」など遊びに必要な言葉を使って遊ぶ。 ★ 遊びに必要なものを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 好きな役になりきる満足感を味わえるよう一人一人のイメージを大切にしながら保育者も仲間に入り、遊びを盛り上げるようにする。 ★ 自分の思いを伝えるためにどうしたらいいか、必要に応じて気持ちを代弁したり、子どもの言葉に補足したりしていく。 【絵本を見る】 ★ 自分が好きな本を選び、自分で絵や写真を見たり、先生に読んでもらったりする。 ★ 子どもたちが興味のある本や図鑑を用意しておき、いつでも見ることができるようにする。 【体を動かして遊ぶ】 ★ ボール遊びをする。 ★ 音楽に合わせて楽器を鳴らしたり、体を動かしたりする。 ★ 室内でも十分に体を動かして遊べるように場を確保し、気分を散発できるようにする。 ★ ラジカセやカセットテープなどを用意しておき、自分たちで遊ぶ姿を見守ったり、時には、保育者も遊びに加わったりしていく。 ★ 雨の日は保育室への出入りも多く、園舎内の子どもたちの動きが混雑するので、子どもたちの動きに目を配り、安全に過ごせるようにする。 ★ 必要に応じて気持ちを代弁したり、子どもの言葉に補足したりしていく。 【環境構成】 (プレイルーム) 絵本コーナー 大型積み木 ア: カセットテープ、ラジカセ、タンプリン、すず、カスターネット イ: ソフト積み木 ウ: 空き箱、牛乳パック、平テープ、セロハンテープ、ガムテープ、ストロー、新聞紙 エ: 絵本、図鑑 オ: 人形、エプロン、ままごとセット カ: ヒヤシンス キ: クロッカス、二十日大根 ク: 洗面器、バケツ、皿、茶碗、船、汽車、ペットボトル (保育室) オルガン ア ヒアノ イ アノ ウ ロッカー カ エ 絵本を見る ホ ごっこ遊びをする (テラス) 雨を見たり集めたりする 足洗い場 砂場 ク 砂場 固定遊具 自然と触れ合う 飼育舎 固定遊具 池 【つくって遊ぶ】 ★ 空き箱やロールペーパー芯、ストロー、新聞紙、ソフト積み木などで、自分がつくりたいものをつくる。 ★ つくったものを使って、友だちや先生と一緒に遊ぶ。 ★ 異年齢児の仲間に入って、大型積み木で家や基地などを一緒にづくり、ごっこ遊びをする。 ★ 「～したい」という思いを実現するために必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておく。 ★ 一人一人の思い(何がしたいのか、何をつくりたいのか)を丁寧に受け止め、大切にすること。 ★ 異年齢児とかかわって遊ぶ姿を見守りながら、必要に応じて言葉を補ったり、気持ちを代弁したりして、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 ★ はさみやセロハンテープの扱い方、積み木の積み方などについては、遊ぶ様子を見守りながら、必要に応じて言葉を掛けていく。 【自然と触れ合う】 ★ 雨や木々の雨粒を見たり、雨の音を聞いたり、雨粒を集めたり、空を見上げたりする。 ★ 風や水の冷たさを感じたり、吐く息の白さに気付いたりする。 ★ クロッカスや二十日大根の様子を見る。 ★ 保育者も一緒に身近な自然にかかわって遊び、子どもたちの発する言葉や動きを共感的に認め、他の子どもへの刺激となるような言葉掛けをしていくようにする。 ★ 保育者も一緒に雨を見たり、空を見上げたりして、雨の美しさに共感していく。 ★ 風や水の冷たさや吐く息の白さに気付くように言葉を掛け、保育者もその感動に共感する。 ★ 保育者も一緒にクロッカスや二十日大根の様子を見て成長を楽しみにすることができるような言葉掛けをする。
10:40	★ 片付ける。 ★ 降園の準備をする。	【片付ける】 ★ 自分で遊んだ後の片付けをしようとする姿を認めながら保育者も一緒に取り組み、励ましていくとともに、園庭や保育室がきれいになる気持ちよさに共感していく。
11:00	★ 降園時の活動をする。 ・ 歌を歌う。(ゆき など) ・ 絵本を見る。 ・ 先生や友だちと一日を振り返る。 ・ 次週の予定を聞く。	【降園時の活動をする】 ★ 保育者も一緒に手洗い・うがいをし、その大切さを伝えていくようにする。 ★ 歌を歌ったり、ゲームをしたりして、みんなで楽しい時間を共有することができるようにする。 ★ 季節に合った歌を歌ったり、絵本を見たりして、季節感を味わえるようにする。 ★ 話を聞く雰囲気づくりをし、一日の出来事を振り返り、満足感を味わえるようにする。 ★ 今日の子どもの遊びの様子を紹介したり、次週の予定について話題にしたりして、次週も期待をもって登園できるようにしたい。
11:30	★ 降園する。	